

做リ一千六百三十円ニテ妥協成リ別記費書一通り田畠解決セリ
一ノ仲(通)假候也

備 言

市内労金製作事務室より易筋申入令及通印及ノ昇源二号左近修復シテ
因機縛はレタス靴ノ前事三回ラ仰事シ市名の方及通印令通シテ保持シテシトヘ
記

一 市内労金製作事務室より解雇手帳トシテ三十日一書本處並其三十日後爲基金
六百四十日支拂合計六千六百六十日

一 製作所内会場金トシテ金一封(五万三千円)又然ニシト

新潟大正一六百六
新潟労金製作事務室
経営員代表
但今假未
調停者
総代喜平

柳澤弘作
三十歳久三郎
熊本虎之助
細井喜平

労動第一八七五號

大正六年五月十三日

監視總監 高橋守雄

内務大臣安達謙蔵殿
社会局長官殿
各廳府廳長官殿

發生五二解决
使用労働者四三一七
爭議参加者三〇四
關係労働組合 恋同社・金子等
三平地・和合協和

汽車製造株式會社東京文店労働爭議ニ關スル件

發生

要旨 二會社於二月六日不無力機事トシテ本日九日慶ニ會レ二詞被給シ發表セリ

(二職工の待遇等の問題序々要旨等中

標記會社ニ於テハ營業不振打開策トシテ職工當銀ニ削減シ發表
シタルニ職工側ハ之ニ反對抗争中ナル方狀況左ノ通

記